

総務教育常任委員会資料

(平成29年3月21日)

【項目】	ページ
1 鳥取県×日本財団共同プロジェクトに係るモデル事業の稼働について 【とっとり元気戦略課】・・・	1
2 第78回関西広域連合委員会等の開催結果について 【広域連携課】・・・	3
3 「平成28年鳥取県に関するイメージ調査」の結果について 【広報課】・・・	9
4 とっとり女性活躍拡大フォーラム（ロールモデルカフェ他）の 開催結果について 【女性活躍推進課】・・・	11
5 中部の福興に向けた女性活躍円卓会議の開催結果について 【女性活躍推進課】・・・	別冊
6 みんなで地方創生事業の執行状況について 【東部振興課】・・・	13

元気づくり総本部

鳥取県×日本財団共同プロジェクトに係るモデル事業の稼働について

平成29年3月21日
とっとり元気戦略課

日本一のボランティア先進県を目指して、鳥取県と日本財団が連携・協力して進めている「鳥取県×日本財団共同プロジェクト」に係る取組について、次のとおりモデル事業の稼働が予定されており、日本財団笹川陽平会長の出席を得て、開所式等を開催します。

1 中山間地域の生活支援プロジェクト関連

中山間地域における住み慣れた地域での生活を守る仕組みづくりについて、次の2事業の施設整備等が完了し、新たな生活支援モデルとして稼働予定である。

(1) 岩美町生活支援モデル事業

「高齢になっても農山村・漁村で元気に安心して暮らし続けられるまち」を目指して、常設型高齢者サロン等を整備し、運用を開始する。

ア 漁村における常設型高齢者サロンの新設

独居高齢者等への配食サービス、女性や高齢者、障がい者の働く場、地域の交流の場として「漁村カフェ」（網代地区）、水産加工施設（大岩地区）を新設する。（事業主体：鳥取県漁業協同組合網代港支所）

イ 農村における常設型高齢者サロンの新設

高齢者の農作業、交流の場として「農村サロン」を新設する。（事業主体：岩常・院内部落）

ウ ITネットワークによる高齢者サロンの充実

高齢者サロン間及び岩美病院をITでつなぎ、町内広域で相互に参加できる新たなコミュニティの仕組みを導入する。（事業主体：岩美町社会福祉協議会）

※上記のほか、JA鳥取いなばによる移動販売車、特産品集荷車が平成29年2月から先行稼働中である。

(2) 中山間地域移動販売モデル事業

「障がい者の活躍で生活を支える中山間地域移動販売モデル事業」

智頭町において、福祉事業所と地元スーパーとの連携により、高齢者等の買い物不便解消のための移動販売事業を新たに開始し、障がい者が地域生活を支える買い物支援「鳥取モデル」を構築する。（事業主体：NPO法人就労支援センター「和貴の郷」）

<参考>今後稼働予定の事業

現在、江府町における生活支援モデル事業が進行中であり、地域活動人材育成（ボランティアセンター整備）、コミュニティ拠点づくり（交流サロン整備）の取組について、平成29年4月に稼働予定である。

2 働く障がい者の活躍プロジェクト関連

福祉事業所の工賃向上を図るモデルの構築について、平成29年3月までに7事業を採択し、うち次の2事業の施設整備等が完了し、新たな工賃向上モデルとして稼働予定である。

(1) 福祉事業所工賃向上モデル事業（あんず・あぷりこ）

「焼きたてパンと地元食材にこだわったカフェレストラン改装事業」

既存のレストランを、高品質、多品種、焼きたてを売りとするパンと、地元食材を使用した健康志向のメニュー、スイーツ等を併せて提供するレストランとして改修し、新たな市場確保

と施設利用者の就労スキルの向上を図る。(事業主体：障害福祉サービス事業所「あんず・あぶりこ」(米子市))

(2) 福祉事業所工賃向上モデル事業(フェリース)

「ジェラート・コーヒーショップ事業」

フルーツショップとしての魅力向上を目的に、既存の店舗の隣に新鮮なフルーツを使用したジェラート、コーヒーショップを新たに設置し、年間を通じた新たな顧客確保と施設利用者の就労スキルの向上を図る。(事業主体：NPO法人「フェリース」(鳥取市))

<参考>既に稼働中のモデル事業

「レストラン四季のおまかせ弁当宅配事業」(和貴の郷(鳥取市))

弁当を製造する新店舗の改修により、まちなか過疎地域等で弁当宅配事業を展開している。
(平成28年12月20日開所)

「目に見えてわかる街の中の印刷屋さん事業」(Studio-E(鳥取市))

商業印刷用プリンターの導入、新店舗の改修により、印刷事業を拡大している。(平成29年1月16日開所)

3 開所式等開催日程(予定)

1及び2の取組について、笹川日本財団会長、平井知事、林副知事等の出席により、次のとおり開所式等を開催予定である。

(1) 智頭町移動販売車出発式

- ア 日時 平成29年3月29日(水) 午前10時から11時まで
- イ 場所 富沢地区公民館(智頭町)
- ウ 出席者 木田日本財団鳥取事務所長、林副知事ほか

(2) あんず・あぶりこ工賃向上モデル開所式

- ア 日時 平成29年3月29日(水) 午後2時30分から3時30分まで
- イ 場所 あんず・あぶりこ(米子市)
- ウ 出席者 笹川会長、林副知事ほか

(3) フェリース工賃向上モデル開所式

- ア 日時 平成29年3月30日(木) 午前9時30分から10時30分まで
- イ 場所 フェリース(鳥取市)
- ウ 出席者 笹川会長、平井知事ほか

(4) 岩美町生活支援モデル(漁村カフェ等)開所式

- ア 日時 平成29年3月30日(木) 正午から午後1時まで
- イ 場所 あじろカフェなだばた(岩美町)
- ウ 出席者 笹川会長、平井知事ほか

第78回関西広域連合委員会等の開催結果について

平成29年3月21日

広域連携課

平成29年3月5日（日）に大阪市内で開催された第78回関西広域連合委員会等の概要は、次のとおりです。

第1 第78回関西広域連合委員会

- 1 日時 平成29年3月5日（日） 午前11時15分から正午まで
- 2 場所 大阪市内（大阪府立国際会議場）
- 3 出席者 井戸広域連合長、仁坂副広域連合長、山田委員、荒井委員、平井委員、飯泉委員、西嶋副委員（滋賀県）、植田副委員（大阪府）、中條副委員（堺市）、鳥居副委員（神戸市）、藤原総合企画局長（京都市）、上田総務局長（大阪市）

4 主な概要

(1) 地方創生推進交付金平成29年度申請について **資料1**

平成29年度の地方創生推進交付金に申請予定の「地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業」及び「水素による関西しごと創生・低炭素まちづくりスタートアップ事業」の2事業について協議し、国からの募集が開始され次第申請することを確認した。

ア 地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業（事業費65,000千円）

【事業内容】

地域の魅力を伝える人材活用事業

- ・通訳案内士に対し、国・言語別専門研修を実施する。
- ・外国人観光客の手助けができるボランティアガイドを普及させる。

地域の魅力再発見事業

- ・魅力ある観光資源を集約するとともに、地域の魅力発信ができるアプリを開発し、活用する。
- ・旅行商品を造成し、商品化する。

地域の魅力へのアクセス向上事業（2次交通の利便性向上）

- ・レンタカー事業者や観光関連事業者と連携し、推奨周遊コースやクーポン等の設定等の地域の観光スポット等を巡る仕組みを創設する。

イ 水素による関西しごと創生・低炭素まちづくりスタートアップ事業（事業費17,854千円）

【事業内容】

関西水素サプライチェーン構想の作成

- ・関西圏における水素・燃料電池分野の研究機関、水素プロジェクト、供給・移送インフラ、水素関連企業等の状況を把握し、整理する。
- ・水素の製造（輸入）から貯蔵・輸送、利活用までのサプライチェーン構想を作成する。

燃料電池自動車（FCV）の普及啓発

(2) 新幹線鉄道の整備に係る要望について **資料2**

平成28年12月22日に関西広域連合で取りまとめた「北陸新幹線（敦賀以西）ルート決定にかかる意見書」に加え、関西を始め西日本における新幹線鉄道の整備と、関西国際空港への高速アクセスの整備は急務であることから、改めて国へ要望することを確認した。

(3) 今冬の大雪被害への対応について **資料3**

平成29年1月及び2月の大雪により関西広域連合域内において農業生産施設等に被害が発生したことから、大雪被害対策について、平成29年2月23日に国へ要望を行ったことを報告した。

(4) 「創造的地域づくりと地方創生」シンポジウムの開催について

少子化による急速な人口減少に加え、若者を中心とした大都市圏への人口流出により、地方の弱体化が懸念される中、地方創生を確かなものとしていくためには「地域の魅力」が「ひと」を呼び、「ひと」が「地域の魅力」を引き出す、「ひと」と「地域の魅力」の好循環を各地域に生み出すことが重要との認識に立ち、地方創生の先駆的な取組や地域づくりのノウハウ等を深め、効果的な地域の魅力づくりについて考えるシンポジウムを次のとおり開催することを報告した。

日 時：平成29年3月28日（火）午後2時から4時30分まで

場 所：ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間

対象者：150名

参加料：無料

内 容：基調講演「創造的都市と日本再生」

講師：同志社大学経済学部特別客員教授 佐々木 雅幸

※21世紀の新しい社会のあり方として注目される創造都市・創造農村について、国内外の成功事例を紹介し、鳥取県における取組方と課題を提示する。

パネルディスカッション「地域・まちの活性化への取組事例の紹介等」

パネリスト：NPO法人都市文化創造機構理事 川井田 祥子

会津電力（株）代表取締役社長 佐藤 彌右衛門

鳥取大学地域学部地域文化学科教授 野田邦弘

Studio-L 代表 山崎 亮

※4名のパネリストが障害者アート、若者への移住促進、再生可能エネルギー等の全国的な取組等の事例発表を行う。

第2 関西広域連合議会3月定例会

1 日 時 平成29年3月5日（日） 午後1時から7時まで

2 場 所 大阪市内（大阪府立国際会議場）

3 出席者 井戸広域連合長、仁坂副広域連合長、山田委員、松井委員、飯泉委員、三日月委員、平井委員、久元委員、門川委員、吉村委員、竹山委員、松谷副委員

4 概 要

(1) 議 案

次の議案が、原案のとおり可決された。

- ・第1号議案 平成29年度関西広域連合一般会計予算の件
- ・第2号議案 平成28年度関西広域連合一般会計補正予算（第3号）の件
- ・第3号議案 関西広域連合資格試験等基金条例の一部を改正する条例制定の件
- ・第4号議案 関西広域連合広域計画変更の件
- ・第5号議案 関西広域連合環境保全計画変更の件
- ・第6号議案 関西広域連合公平委員会に係る事務委託の廃止の件
- ・第7号議案 関西広域連合公平委員会に係る事務委託の件
（平成29年度から事務を鳥取県に委託することについての提案）

(2) 一般質問

本県選出の興治議員が、移住の取組、促進について質問を行った。

地方創生推進交付金平成 29 年度申請について

平成 29 年 3 月 5 日
本 部 事 務 局

1 平成 29 年度申請予定事業の概要

1	地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業 【横展開タイプ】	①地域の魅力を伝える人材活用事業 急増する外国人観光客の受入環境整備として、通訳案内士等を対象とした研修や事業者とのマッチング事業等を通して、通訳案内士等の活躍の場の拡大と就業率のアップ、人材の発掘を図るとともに、外国人観光客のコミュニケーションの不安解消と旅行満足度の向上を目指す。		
		②地域の魅力再発見事業 ブログやSNS等情報収集手段の変化により、既存の観光情報によらない新たな観光スポット等を求める観光客が増えている。これに対応するため、各地域の魅力はあるが埋もれている、発信力が弱い等の観光資源情報などを集約し、その情報を基に、位置情報サービスを活用したスタンプラリーアプリ等を使い、より細かなメッシュで地域の新たな魅力発信を行う。		
		③地域の魅力へのアクセス向上事業 関西は都市部における公共交通機関が発達し、交通バス等を使って広域的に周遊する観光客が多い中、鉄道等からの次の移動が困難な地域での2次交通の課題があることから、レンタカーを活用して地域の周遊を誘導し、また、併せて飲食や地域の特産品等の購入など地域での消費活動も促進する2次交通の利便性向上に向けた取組を進める。		
		総事業費（交付申請）	年度別事業費（交付申請）	
		65,000 千円 (32,500 千円)	29	28,000 千円 (14,000 千円)
			30	23,500 千円 (11,750 千円)
			31	13,500 千円 (6,750 千円)
2	水素による関西しごと創生・低炭素まちづくりスタートアップ事業（水素実用化検討事業） 【横展開タイプ】	関西圏における水素エネルギーの利活用の実用化に向け、関西圏の取組状況、将来の導入可能性、CO ₂ 削減効果といった水素ポテンシャルを把握した上で、大規模な水素の供給システム整備のため製造から貯蔵・輸送、そして利活用に至る関西水素サプライチェーン構想を策定するとともに、水素を利用する燃料電池車の普及啓発を行うための冊子を作成する。		
		総事業費（交付申請）	年度別事業費（交付申請）	
		17,854 千円 (8,927 千円)	29	5,554 千円 (2,777 千円)
			30	6,400 千円 (3,200 千円)
			31	5,900 千円 (2,950 千円)

2 申請期限（予定）

平成 29 年 3 月中旬（4 月下旬：採択事業の公表、5 月下旬：交付決定）

＜地方創生推進交付金（平成 29 年度）の支援概要＞

支援タイプ	先駆タイプ	横展開タイプ、隘路打開タイプ
申請事業数 ^(※1)	2 事業まで（構成団体の申請事業数の「目安」の内数としてカウントすることはない）	
必要要素 ^(※2)	自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携の 4 要素が不可欠	自立性＋官民協働、地域間連携、政策間連携のうち少なくとも 2 要素が不可欠
計画認定期間	5 か年度以内	3 か年度以内
交付金額 ^{(※1)(※3)}	1 事業あたり国費 3 億円を上限（事業費ベース 6 億円）	1 事業あたり国費 7 千 5 百万円を上限（事業費ベース 1 億 5 千万円）

※1：主に都道府県から構成されている広域連合等の場合

※2：隘路打開タイプの場合、制度上の隘路を発見し、それを打開する方策の説明が必要

※3：所得向上等の観点から高い効果が見込まれる事業は、交付上限額を超えて交付できる

新幹線鉄道の整備にかかる要望書

高速鉄道は、国民経済の発展や国民生活領域の拡大並びに地域の振興に資する重要なプロジェクトであり、国土の均衡ある発展と地域の活性化に不可欠な社会インフラである。

しかるに我が国の新幹線鉄道は、昭和47年までに基本計画路線として告示され昭和48年に整備計画が決定された路線については、整備に一定の目処がついたものの、昭和48年に基本計画路線として告示された路線については、リニア中央新幹線を除き、整備計画の前提となる調査がなされないまま40年以上が経過しており、建設の目処が立っていない。

国土の双眼構造への転換を図り、関西が我が国の成長を牽引する担い手となるためには、高速鉄道をはじめとする広域交通インフラの整備が必要であるが、新幹線鉄道は、東京を起点とする路線がリニア中央新幹線を除きすべて整備済みであるのに対し、大阪を起点とする路線は東海道・山陽新幹線にとどまっており、東京と比較して大きく遅れている。

加えて、東京を起点とする路線を中心として整備が進められ、地方と地方を結ぶ地域間相互の交流や連携を強化する路線が整備されなかった結果、東京への一極集中を加速させるとともに、整備されている地域とされていない地域の間では、観光や産業の振興等において差が生じている。

新幹線鉄道網の整備は、東京一極集中を是正し、日本海国土軸・太平洋新国土軸をはじめとする複数の国土軸並びに地域間を結ぶ地域連携軸を形成するために必要不可欠であり、整備により、全国を一つの経済圏に統合する地方創生回廊の創出や災害時におけるリダンダンシーの確保、国土の強靱化が図られる。

とりわけ、関西を始め西日本における新幹線鉄道の整備と、関西国際空港への高速アクセスの整備は急務である。

以上のことから、下記の事項について要望する。

記

基本計画路線である四国新幹線、山陰新幹線、北陸・中京新幹線について、整備計画として決定し、関西国際空港への高速アクセスの確保と併せて早期実現を図られたい。

平成29年3月5日

関西広域連合長 井戸 敏三 (兵庫県知事)

関西広域副連合長 仁坂 吉伸 (和歌山県知事)

大雪被害対策にかかる要望について

関西圏域では、今冬の大雪により、農業生産施設の倒壊・損壊、倒木及び漁船の沈没・転覆等農林水産業生産に甚大な被害が発生し、また、道路の渋滞、通行止めにより住民の安全・安心及び地域経済活動が大きく損なわれるなど、経済活動や住民生活に多大な影響を及ぼしています。

そのため、今回の大雪被害からの早急な復旧に向けて、国からの支援や国と連携した対策の実施が必要な状況にあります。

つきましては、以下の項目について要望いたしますので、格段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

1 大雪被害に係る特別交付税の措置

この度の大雪により、道路等の除雪、伐倒木等の除去作業に加え、今後も農作物等の被害が拡大する可能性が高いことから、各府県及び各市町村で行う緊急対応及び復興対策経費に係る特別交付税の措置について、格別の配慮をお願いしたい。

2 被災した農業用施設等の復旧支援

次の項目をはじめとする農業支援を講じていただくよう、お願いしたい。

(1) 今回の大雪被害について「被災農業者向け経営体育成支援事業」が活用できるよう、対象となる気象災害に指定していただきたい。

(2) 当該事業について、次の事項をお願いしたい。

①国の補助率を1/2に引き上げること

②被災した施設・機械の解体、撤去及び処分等を助成対象とすること

③計画承認等の手続き前でも、被害を受けた日以降の取組（着工）であれば助成対象とすること

3 森林環境保全直接支援事業の補助要件の緩和

今回の大雪被害に係る復旧については、倒木の伐採、整理及び再造林に係る面積（0.1ha以上）の補助要件の緩和をお願いしたい。

4 降雪による災害に強い高速道路ネットワークの構築

降雪による通行止めや大規模な渋滞発生を回避するため、高規格幹線道路における暫定2車線区間の4車線化やソフト対策の強化により、強靱な高速道路ネットワークの構築をお願いしたい。

5 除雪費用の追加配分

今後の降雪に対応し、安定した冬期交通を確保するため、平成28年度除雪費用の重点的な追加配分をお願いしたい。

平成29年2月23日

関西広域連合

連 合 長	兵 庫 県 知 事	井 戸 敏 三
副連合長	和 歌 山 県 知 事	仁 坂 吉 伸
委 員	滋 賀 県 知 事	三 日 月 大 造
委 員	京 都 府 知 事	山 田 啓 二
委 員	大 阪 府 知 事	松 井 一 郎
委 員	奈 良 県 知 事	荒 井 正 吾
委 員	鳥 取 県 知 事	平 井 伸 治
委 員	徳 島 県 知 事	飯 泉 嘉 門
委 員	京 都 市 長	門 川 大 作
委 員	大 阪 市 長	吉 村 洋 文
委 員	堺 市 長	竹 山 修 身
委 員	神 戸 市 長	久 元 喜 造

「平成28年鳥取県に関するイメージ調査」の結果について

平成29年3月21日
広 報 課

今後の県外情報発信や魅力向上の方策を探るため、鳥取県の観光・特産物等のイメージ及び鳥取県中部地震の被害への認識について、大都市圏、中国・四国圏等の県外居住者を対象とした調査を実施しました。その結果は次のとおりです。

【主な特徴的な結果】

- 鳥取県と言われて連想されるものは「鳥取砂丘」がトップである。
- 特産物の認知度について、「二十世紀梨」が6年連続1位と安定している。
- 観光地の認知度について、「鳥取砂丘」、「水木しげるロード」、「大山」の順で認知度が高く、6年連続で同じ順位である。
- 見聞きしたことがある鳥取県の話について、「スターバックス・すなば珈琲」が1位となった。
- 鳥取県中部地震の被害や、被災地の現状について過半数が「分からない」と回答しており、震災復興の状況に関する情報発信が必要である。

1 調査概要

(1) 調査期間

平成29年2月3日から9日まで

(2) 調査対象及び調査方法

大手リサーチ会社に委託し、首都圏、中京圏、関西圏、中国・四国圏、九州圏の14都府県に居住する各年代別男女5,400人を対象に実施した。

〔内訳〕 首都圏 2,400人、中京圏 300人、関西圏 900人、中国・四国圏 1,500人、九州圏 300人

(参考)

今回の調査は、平成23年から数えて6回目の調査となる。(別冊の報告書には過去4年の比較を掲載している。)

2 結果概要

(1) 本県に対するイメージ

○連想されるもの：約8割弱が「鳥取砂丘」と回答した。(調査開始以来トップとなっている。)

【別冊8ページ】

○連想する色：約6割が「ブラウン系」と「イエロー系」と回答した。【別冊9ページ】



鳥取砂丘のイメージが非常に強い

(2) 特産物、観光地の認知度等

○話題認知度【別冊14ページ】

- ・平成23年から4年連続1位だった「ゲゲゲのふるさと鳥取県(46.3%)」に替わり「スターバックスが都道府県で最後にオープン・すなば珈琲(47.7%)」が初めて1位となった。また、新項目の「鳥取県中部地震の発生(34.0%)」及び「鳥取砂丘スナホ・ゲーム解放区宣言(ポケモンGO)(22.5%)」は、高い認知度となった。

○特産物認知度【別冊 15 ページ】

- ・「二十世紀梨 (63.0%)」が6年連続1位と安定している。次いで「砂丘らっきょう (32.3%)」「松葉がに (29.2%)」と続いた。また、新規項目の「大山どり (16.2%)」がこれらに次ぎ、相対的に高く認知されている。

○観光地認知度【別冊 19 ページ】

- ・「鳥取砂丘 (92.2%)」、「水木しげるロード (50.8%)」、「大山 (36.7%)」と6年連続で同じ順位である。「すなば珈琲 (30.1%)」がそれに次ぎ、話題性の高さを確認できる。

(3) 魅力向上に必要な分野・鳥取県に関する情報の入手

○魅力向上に必要な分野【別冊 24 ページ】

- 「情報発信・PR・知名度アップ (10.4%)」、「観光地の整備など観光対策の強化 (4.7%)」は継続して減少傾向にあり、県の情報発信や観光対策が多くの人に伝わっていることがうかがえる。

○情報の入手経路【別冊 25 ページ】

- 「テレビ〔番組+CMの合算で 42.6%〕」が突出しており、6年連続で1位となっている。次いで「インターネット〔SNS (Twitter・Facebook 等) + それ以外の合算で 13.0%〕」、「旅行雑誌 (6.0%)」と続いた。また「わからない・特になし (26.2%)」はやや減少した (3.6ポイント減)。

○鳥取県について得たい情報【別冊 26 ページ】

- 「グルメ (22.4%)」がトップであり、増加し続けている。

(4) 鳥取県中部地震の被害

○人・建物・農業・水産業への被害【別冊 28 ページ】

- 各項目とも「わからない」との回答が6割前後を占めるほか、死者について「被害が大きい」(9.2%)、「被害が小さい」(21.9%)と、合わせて3割近くの者が死者がいたと誤認しており、正確な被害状況が伝わっていないことがうかがえる。

○地域別の被害【別冊 30 ページ】

- どの地域も「わからない」が73~75%、被害あり(「被害が大きい」と「被害が小さい」の合計)は21~25%と、大きな地域差は見られず、また、具体的な被害地域についての認識が薄いことがうかがえる。

○被災地の現状【別冊 31 ページ】

- 「わからない」(61.2%)が半数強を占めるものの、現在も被害が続いている旨の回答はいずれも1割程度にとどまっている。

(5) 訪問意向等

- 鳥取県への訪問意向【別冊 33 ページ】は、7割 (71.9%) が「行ってみたい」と回答しており、訪問する目的【別冊 35 ページ】は、「自然で癒される (24.5%)」、「温泉地でリフレッシュする (21.6%)」が比較的高い。

3 今後の対応

- ・これまでも話題性の高いイベントなどの情報を、本調査で主な情報入手経路のトップであるテレビを中心に発信しており、報道番組を中心に露出が増えている。今後も、得たい情報のトップであるグルメ情報など訴求力の高い情報のほか、大山開山千三百年祭や星取県などについて、関係部局と連携してテレビやSNSなどのインターネットを中心に発信し、認知度を高める取組を行っていく。
- ・震災からの復興状況が、県外に広く伝わっていないことがうかがえるため、正確で具体的な情報を、主に首都圏のメディアを通じて発信していく。

とっとり女性活躍拡大フォーラム（ロールモデルカフェ他）の開催結果について

平成29年3月21日

女性活躍推進課

第4次鳥取県男女共同参画計画の策定を契機として、女性活躍の機運醸成を図るため、官民連携組織「輝く女性活躍加速化とっとり会議」と連携し、「とっとり女性活躍拡大フォーラム」と題し2月10日の「とっとり女性活躍フォーラム」を皮切りに、「女性活躍」をテーマとしたフォーラムを次のとおり県内各地で開催しました。

1 ロールモデルカフェ（女性リーダー育成セミナー拡大版）

手本となる先輩女性（ロールモデル）によるメッセージや意見交換を通じ、働く上でのヒントや参加者同士のつながりを広げる機会として、県内で働く女性を対象としたフォーラムを開催した。

(1) 日 時 平成29年2月22日（水） 午後1時30分から4時30分まで

(2) 場 所 国際ファミリープラザ ファミリーホール（米子市）

(3) 参加者数 24名

(4) 概 要

ア 特別講演「ライフもワークも大切にしたい～いま、伝えたいこと～」

講 師 上田 理恵子 氏

株式会社マザーネット代表取締役・鳥取県県政顧問

イ ロールモデルセッション「これから輝くあなたへ～300字に込めた思い～」

発表者

- ・太田 佳子（株式会社山陰放送管理総局専門局長）
- ・幸見 栄子（株式会社鳥取銀行経営管理部長）
- ・田村 閑美（farm gardenチトのゆび代表）
- ・福本 徳美（東伯ガス産業株式会社取締役総務企画課長）
- ・八嶋 美佐緒（株式会社井木組総務部次長）
- ・吉田 圭子（株式会社ヨシダ会長）

ウ 意見交換会「これからの女性リーダー像について」

(5) 参加者の声

- ・管理職の方の話が聞け、色々な質問をすることができて良かった。
- ・異業種の方と話をすることができ、参考になった。
- ・本日の話を会社に持ち帰って、活かしていけるようにしたい。



2 男女共同参画推進企業NEXT会議

女性活躍に向け次のステップに進むための自社の取組のヒントや参考としていただく機会として、男女共同参画推進企業などの県内企業を対象とした女性活躍セミナーを開催した。

(1) 日 時 平成29年2月27日（月） 午後1時30分から4時30分まで

(2) 場 所 国際ファミリープラザ 会議室B（米子市）

(3) 参加企業 17社

(4) 概 要

ア 女性活躍企業に向けたセミナー&情報交換会

講師 高野 美菜子 氏

株式会社ナチュラルリンク代表取締役



イ 女性活躍に向けた事例発表

発表企業

- ・丸京製菓株式会社 : 社長塾の開催など社員のキャリアアップの取り組みについて紹介
- ・米子第一交通株式会社 : 社員の状況に応じた柔軟な勤務体制について紹介

(5) 参加企業の声

- ・講師、他企業の方の話を聞いて、当社に足りないところ、改善が必要なところが分かった。
- ・他業種のいろいろな立場、目線での考え方を教わることができ、大変勉強になった。
- ・次回もあればぜひ参加して勉強したい。

3 女性活躍セミナー

～女性が伸びる組織の創り方～全方向 win-win の強いチームを創るためにリーダーが行うこと～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社と連携し、女性活躍に取り組む県内企業の経営者・管理職等を対象としたセミナーを開催した。

- (1) 日 時 平成29年2月28日(火) 午後1時30分から4時50分まで
- (2) 場 所 ホテルモナーク鳥取 仁風の間(鳥取市)
- (3) 参加者数 40名
- (4) 概 要

ア 講演会

「損害保険ジャパン日本興亜の取組について」

講師 佐野 淳 氏

損害保険ジャパン日本興亜株式会社中国業務部長

「次世代人材創造のための女性活躍支援とは？」

講師 藤田 潮 氏

and Cs (アンドシーズ) 代表



イ 名刺交換会、情報交換会

(5) 参加者の声

- ・女性活躍推進はトップダウンが必要であることが再認識できた。
- ・何をしたら良いのか明確に話してもらえたので、すごく分かりやすかった。
- ・相手を変えるために、まず自分が変わる、変わろうと動くことが大切だと感じた。
- ・若手の人材育成に関わっている自分にとってたくさんのヒントがもらえた。

(参考) 今後の実施予定

これからの働き方を考えるフォーラム～震災からの復興、イクボスがとっとりの働き方を考える！～

- (1) 日 時 平成29年3月25日(土) 午後1時30分から4時まで
- (2) 場 所 ハワイアロハホール 大ホール(湯梨浜町)
- (3) 主 催 輝く女性活躍加速化とっとり会議
- (4) 概 要 復興メッセージ
表彰式(とっとりイクボス川柳コンテスト表彰等)
特別講演～イクボス実践企業から学ぶ～
 - ・『100人100通り』の働き方ができる会社へ
山田 理 氏(サイボウズ株式会社取締役副社長兼サイボウズUSA社長)
 - ・「特別な制度がなくても残業半減&利益155%UPしたWLBプロジェクト」
一之瀬幸生 氏(セントワークス株式会社ワーク・ライフバランスコンサルティング担当)

みんなで地方創生事業の執行状況について

平成29年3月21日
東 部 振 興 課
中 部 総 合 事 務 所
西 部 総 合 事 務 所

地方創生の実現に向けて、民間団体等が取り組む地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するため、地域の実情や特性に配慮しながら、時期を失することなく効果的に事業が実施できるよう、東部振興監、中部総合事務所及び西部総合事務所において実施している「みんなで地方創生事業」の執行状況を報告します。

1 東部振興監

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
トワイライトエクスプレス「瑞風」停車を活かした岩美町の地域資源情報発信・PR事業	トワイライトエクスプレス「瑞風」の岩美町東浜駅への停車に併せて、同町東浜に整備されたレストラン「AL MARE (アルマーレ)」において、瑞風の乗客に同町内の岩井窯の陶器での食事を楽しんでいただくことで、岩美町立ち寄りの満足度と魅力発信の向上につなげる。	(株) 東浜	1,000,000	瑞風停車を活かした民間による地域振興を支援するとともに、岩美町の特産品を富裕層や全世界にPRする。(アルマーレは平成29年4月27日オープン予定、事業進行中)
ジビエ活用推進セミナーの開催	「とっとりジビエフェア2016」の開催に併せて「ジビエ活用セミナー」を開催し、農林水産省等関係団体による講演会を実施するとともに、首都圏パイヤーを招へいたした商談会を実施し、県産ジビエの流通拡大を図った。 日 時 平成28年11月5日(土) 場 所 ホテルニューオータニ鳥取 「はまなす」ほか 参加者 講演会 約70名 商談会 3団体(県内2、県外1)	鳥取県	998,000	多くの県内外のジビエ関係者へ出席いただき、県産ジビエの魅力をもPRするとともに、新たな販路拡大につながった。
計			1,998,000	

2 中部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
倉吉市・赤瓦でのカニ汁無料ふるまい「鳥取県は元気です！」	<p>鳥取県中部地震により被害を受けた赤瓦等において、岩美町、かろいちほか県内の観光団体等の協力を得て鳥取県特産のカニ汁の無料提供を実施し、県内の観光地や温泉は通常どおり営業していることを示し、県全体の賑わいの創出と震災前と同様の観光客誘客につなげた。</p> <p>日 時：平成28年11月21日(月) 11月27日(日) 12月 3日(土) 12月11日(日) 12月18日(日)</p> <p>場 所：赤瓦1号館駐車場、倉吉駅前 参加者：1日当たり約200名 共 催：倉吉銀座商店街振興組合、湯梨浜町観光協会、三朝温泉観光協会、北栄町観光協会、琴浦町観光協会、倉吉市ホテル旅館組合、三朝温泉観光協会、三朝温泉旅館協同組合、(一社)鳥取中部観光推進機構</p>	倉吉観光マイス協会	615,127	フジテレビ、TBSなどの全国メディアに数多く取り上げられたことにより、鳥取県中部が震災前と同様、元気に営業していることを周知できた。観光客を地元の味でもてなすことで旅行に対する満足度向上につながった。

3 西部総合事務所

(単位：円)

事業名	事業内容	事業主体	執行額	成果等
～鳥取県・モンゴル中央県友好交流20周年記念イベント～ モンゴル国立馬頭琴交響楽団演奏会	<p>モンゴルの代表的民族楽器「馬頭琴」の演奏を通して、モンゴル文化の体験、理解、文化交流の発展継続を目指した。</p> <p>日 時：平成28年11月10日(木) 場 所：米子市公会堂 大ホール 来場者：781名 内 容：モンゴル国立馬頭琴交響楽団演奏会による演奏会、モンゴル鳥取県友好交流パネル、民族衣装等の展示</p>	鳥取県・モンゴル中央県友好交流20周年記念イベント実行委員会	700,000	演奏だけでなく日本語解説や展示により多くの方にモンゴル文化を紹介し、環日本海諸国との文化交流の一助となった。
～大山環状道路社会実験の賑わいイベント～ 大山ミニバーガーフェスタ	<p>大山環状道路社会実験(マイカー規制)に併せて、鏡ヶ成の江府町側でミニバーガーフェスタを開催し、県外観光客等に地域の食の魅力アピールを目指した。</p> <p>日 時：平成28年10月29日(土) 場 所：江府町鏡ヶ成の駐車場付近 主 催：全国ご当地バーガー連絡協議会 その他：とっとりバーガーフェスタ上位入賞をはじめとした県内外の5店舗が出店</p>	全国ご当地バーガー連絡協議会	400,000	準備した商品が完売するなど好評を得た。また、鳥取の食の魅力のひとつである「ご当地バーガー」を広く周知することができた。

<p>「日野郡3町三色たたらんち」を活用した日野郡観光資源の情報発信</p>	<p>平成29年ゴールデンウィークにデビュー予定の新ご当地グルメ「たたらんち」と、日野郡の観光資源等を絡めた情報発信を行い、地域の活性化を目指した。 (内容) ・ランチと地域の旬な情報を発信するホームページの開設 ・ランチデビューキャンペーン企画及びチラシ作成 ・ランチオンマット作成 等</p>	<p>日野郡広域交流促進協議会</p>	<p>708,000</p>	<p>観光客を日野郡に呼び込むため「たたらんち」デビューを核とした様々な情報発信の仕組みが整ったことで、地域活性化に向けた機運が盛り上がってきた。</p>
<p>計</p>			<p>1,808,000</p>	

